



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 ミサワホーム中国株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1728 URL <http://www.misawa-chugoku.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南雲 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 川勝 昌弥 TEL 086-245-3204
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,674	0.9	△202	—	△184	—	△132	—
2020年3月期第1四半期	4,632	17.1	△274	—	△262	—	△194	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △117百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △205百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△11.51	—
2020年3月期第1四半期	△16.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	16,703	5,554	33.3
2020年3月期	17,602	5,729	32.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,554百万円 2020年3月期 5,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,100	△1.1	390	205.5	420	139.8	220	134.0	19.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 （社名） 、除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	11,540,180株	2020年3月期	11,540,180株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	34,494株	2020年3月期	34,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	11,505,686株	2020年3月期1Q	11,505,686株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2019年10月の消費税率10%への引き上げにより消費マインドが低下するなか、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大による様々な活動自粛の影響を受け、個人消費の低迷に拍車がかかり、経済活動の停滞による実体経済悪化が現実的となったことから、景気の先行きは予断を許さない状況に変わってきております。

住宅業界におきましては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止のための外出自粛制限に伴い、展示場閉鎖やイベント等の自粛により受注活動への影響を受けるなど、極めて厳しい状況に直面していることから、先行きの見通しはより一層困難な状況となっております。

こうした状況の中、当社グループは、住宅市場動向の急速な変化に対応し、住まいに関する多種多様なニーズを捉え、継続的な収益に結び付けるべく、将来を見据えた事業ポートフォリオの最適化を目指した取り組みを推進してまいりました。

住宅請負事業におきましては、市場におけるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)への関心の高まりに対応するため、ZEH仕様住宅の普及に向けて積極的な受注活動を継続推進するとともに、在宅ワークスペースの確保や、万一の際の備蓄品確保にも有用な大収納空間「蔵」の提案など、家族で過ごす時間の増加を前提とした「新たな日常生活」に対応できる住まいのニーズの掘り起こしに注力してまいりました。

分譲事業におきましては、自社開発の大規模分譲地を中心とした集客活動に加えて、主に広島県広島市において当連結会計年度末に完成予定の、ミサワホームブランドの分譲マンション「アルビオ・ガーデン」シリーズの販売を継続するなど、まちづくり事業への取り組みを展開してまいりました。

リフォーム事業におきましては、戸建住宅、アパート、戸建貸家等、オーナー様からの大型リフォーム工事に加え、非住宅も含めた商業施設等の全面リフォーム工事にも注力するなど、多面的な受注活動に取り組んでまいりました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高4,674百万円(前年同期比0.9%増)、営業損失202百万円(前年同期は274百万円の営業損失)、経常損失184百万円(前年同期は262百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失132百万円(前年同期は194百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、住宅業界における季節的要因として、新学期・新年度を控えた2~3月度に売上が集中する傾向があります。これにより当第1四半期の売上高は、他の四半期に比べ相対的に低い水準となっております。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①住宅請負事業

住宅請負事業部門の売上は、戸建住宅(木質、鉄骨、MJ Wood)と賃貸用のアパート等の請負によるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、引渡棟数が増加したことに加えて、新築付随工事の獲得とコスト削減効果により増収増益となりました。

この結果、売上高3,016百万円(前年同期比24.3%増)、セグメント利益2百万円(前年同期は148百万円のセグメント損失)となりました。

②分譲事業

分譲事業部門の売上は、建売分譲住宅、住宅用地、分譲マンションの販売及び買取再生事業によるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、住宅用地の販売区画数は増加しましたが、新たな分譲マンションの完成がなく、引渡戸数が減少したことにより減収減益となりました。

この結果、売上高750百万円(前年同期比19.4%減)、セグメント利益7百万円(前年同期は36百万円のセグメント利益)となりました。

③リフォーム事業

リフォーム事業部門の売上は、増改築、インテリア、エクステリアなどの請負によるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、消費税増税以降受注が減少していることから、減収減益となりました。

この結果、売上高602百万円(前年同期比36.4%減)、セグメント利益0百万円(前年同期は62百万円のセグメント利益)となりました。

④その他事業

その他事業部門の売上は、借上アパートの転貸による家賃収入や不動産の仲介料収入及び損害保険の代理店収入などによるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、手数料収入、メンテナンス工事収入ともに減少したことにより、減収減益となりました。

この結果、売上高304百万円(前年同期比6.9%減)、セグメント損失13百万円(前年同期は10百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して899百万円減少しました。これは主に未成工事支出金が130百万円、未成分譲支出金が97百万円それぞれ増加する一方、現金預金が977百万円、完成工事未収入金及び売掛金が51百万円、分譲土地建物が154百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して723百万円減少しました。これは主に買掛金が90百万円、工事未払金が256百万円、未成工事受入金及び分譲事業受入金が23百万円、完成工事補償引当金が31百万円、流動負債その他が110百万円、長期借入金が21百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末と比較して175百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、2020年5月18日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,022,528	5,044,938
完成工事未収入金及び売掛金	108,143	56,359
分譲土地建物	3,475,331	3,320,702
未成工事支出金	1,383,856	1,514,657
未成分譲支出金	1,830,034	1,927,269
貯蔵品	9,342	6,281
その他	429,969	451,286
貸倒引当金	△1,197	△978
流動資産合計	13,258,009	12,320,516
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	644,903	628,892
土地	2,467,087	2,467,087
その他(純額)	27,806	25,553
有形固定資産合計	3,139,797	3,121,533
無形固定資産	17,414	16,599
投資その他の資産		
投資有価証券	410,187	415,449
退職給付に係る資産	21,428	24,080
繰延税金資産	275,706	326,220
その他	484,587	483,534
貸倒引当金	△4,402	△4,371
投資その他の資産合計	1,187,508	1,244,913
固定資産合計	4,344,720	4,383,046
資産合計	17,602,730	16,703,563

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,158,236	1,067,880
工事未払金	635,925	379,909
分譲事業未払金	28,164	48,789
短期借入金	4,214,444	4,164,496
未払法人税等	36,989	10,239
未成工事受入金及び分譲事業受入金	2,383,235	2,360,214
賞与引当金	230,000	101,300
完成工事補償引当金	287,827	255,859
その他	919,649	809,365
流動負債合計	9,894,472	9,198,053
固定負債		
長期借入金	1,714,681	1,692,819
役員退職慰労引当金	49,700	48,000
退職給付に係る負債	72,199	71,736
その他	141,712	138,459
固定負債合計	1,978,293	1,951,014
負債合計	11,872,766	11,149,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,369,850	1,369,850
資本剰余金	886,598	886,598
利益剰余金	3,628,152	3,438,192
自己株式	△8,256	△8,256
株主資本合計	5,876,345	5,686,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,058	△16,380
退職給付に係る調整累計額	△126,322	△115,507
その他の包括利益累計額合計	△146,381	△131,888
純資産合計	5,729,964	5,554,496
負債純資産合計	17,602,730	16,703,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,632,401	4,674,484
売上原価	3,678,208	3,770,831
売上総利益	954,192	903,652
販売費及び一般管理費	1,228,327	1,106,358
営業損失(△)	△274,134	△202,705
営業外収益		
受取利息	806	2,225
受取配当金	3,667	3,414
受取手数料	8,105	16,399
その他	5,672	4,504
営業外収益合計	18,251	26,543
営業外費用		
支払利息	6,717	6,632
その他	361	1,902
営業外費用合計	7,078	8,535
経常損失(△)	△262,961	△184,696
特別損失		
固定資産除却損	—	119
特別損失合計	—	119
税金等調整前四半期純損失(△)	△262,961	△184,816
法人税、住民税及び事業税	4,517	4,476
法人税等調整額	△72,967	△56,860
法人税等合計	△68,450	△52,384
四半期純損失(△)	△194,510	△132,431
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△194,510	△132,431

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△194,510	△132,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,293	3,677
退職給付に係る調整額	2,250	10,814
その他の包括利益合計	△11,042	14,492
四半期包括利益	△205,553	△117,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205,553	△117,939

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した情報等についての重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	リフォーム 事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,426,351	931,037	948,001	327,010	4,632,401	—	4,632,401
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	150,290	—	150,290	△150,290	—
計	2,426,351	931,037	1,098,291	327,010	4,782,691	△150,290	4,632,401
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△148,328	36,443	62,048	△10,540	△60,377	△213,757	△274,134

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△213,757千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	リフォーム 事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,016,843	750,533	602,533	304,574	4,674,484	—	4,674,484
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	168,289	—	168,289	△168,289	—
計	3,016,843	750,533	770,823	304,574	4,842,774	△168,289	4,674,484
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,442	7,315	712	△13,916	△3,446	△199,259	△202,705

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△199,259千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。